

～妹背の滝のせせらぎと、幽玄なる能楽の調べを地域とともに

大頭神社 こども能楽奉納



【日時】10月25日（日）11：45～（予定）

この度、尊いご縁に結ばれ、大頭神社神前にて能楽奉納の神事をおこなう運びとなりました。こども達が、神前で静かに神様と向かい合い、能を舞う。「神様とは何だろう?」「奉納するとはどういうことだろう?」という問いを通じて、かつて人々の暮らしやコミュニティの中心であった神社の意味を、深く考える契機にしてほしいと願い、奉納をすすめております。当日は皆様とお会いし、素晴らしい時間をともに過ごせることを心より楽しみにしております。

能楽の心と奉納の芸能

◆ 能について

能は室町時代より約700年受け継がれてきた、世界に誇る伝統芸能です。神事としての深い歴史を持ち、目に見えない神仏や精霊の「祈り」を形にします。大頭神社の清浄な境内において幽玄なる世界が現代に蘇ります。

◆ 奉納する仕舞（しまい）

仕舞は能の一曲における見どころを、能面や装束をつけず、紋付・袴姿の体一つで舞うものです。大自然と呼应する技は研ぎ澄まされた身体技法から生まれます。削ぎ落としたからこそ際立つ緊張感を堪能ください。

◆ 謡（うたい）と囃子

能の音楽を形作るのが言葉の芸術「謡」と楽器演奏を担う「囃子」です。今回奉納される大鼓の鋭く力強い打音と掛け声は、舞台の空気を一瞬にして切り裂き、幽玄の空間をダイナミックに引き締めます。

能楽師プロフィール

久貫 弘能（くぬき ひろの）

能楽師 シテ方 宝生流

重要無形文化財保持者（総合認定）。伝統の技を受け継ぎ、国内外の数々の舞台で幽玄の世界を表現。確かな技法と美しい舞で観客を魅了し、次世代への能楽の普及・継承にも深く貢献している。

白坂 保行（しらさか やすゆき）

能楽師 大鼓方 高安流

重要無形文化財保持者（総合認定）。鋭く力強い掛け声と響きで舞台の緊張感を高める大鼓の気鋭。高安流の伝統を重んじつつ、卓越したリズムと打音で能のドラマ性を引き出し、奉納舞台を力強く支える。